

4-1. 医療制度について

関心度



- 医療制度に「関心がある」人は**58%**。「まあ関心がある」人を含めると全体の**92%**の人が**関心をもっている**。
- 女性の方がやや関心が高く、「関心がある」・「まあ関心がある」の合計では、男性**90%**、女性**94%**と**女性の方がやや高くなっている**。
- 年代別では、年代が高くなるほど関心も高くなる傾向。「関心がある」と回答した人は、20代が**38%**に対して、70代は**82%**と**40ポイント以上の開き**がみられ、世代間での医療制度への関心度の差が大きい。

給付と負担のバランス



- 「給付水準を保つために、ある程度の負担の増加はやむを得ない」と考える人が最も多く**41%**。
- 負担増に関して、大別すると、**反対が43%**、**容認が43%**と拮抗している。

問題点・改善点

- 自由回答を大別すると「**医師・看護師関連**」「**医療サービス**」「**制度改革**」に大きく分かれた。
- 「**医療サービス**」に関しては、“無駄な医療”“真に必要な人が診療を受けにくい”などの他、“**医療費が高すぎる**”“**負担が大きい**”といった意見が多くみられる。
- 「**医師・看護師関連**」に関しては、“**医師・看護師不足**”を問題点として挙げる人が全体の中でも最も多く、気にしている様子。その他、“**過重労働**”や“**待遇改善**”など**現場の労働環境の改善**を求める声も多い。

高齢者と現役世代の負担のあり方



- 「**高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない**」と考える人が最も多く**45%**。
- 現役世代への負担を求める人が**17%**、高齢者への負担を求める人が**15%**で**ほぼ同率**となっている。